

賛助会員会報

** 木 曾 ** 第122号 平成28年7月19日

木曾地区賛助会総会開催

去る6月2日(木)の午後、木曾合同庁舎講堂において、平成28年度木曾地区賛助会総会が開催されました。

議長に佐野 明さんを選出し、議事録署名委員の委嘱の後、議事に入りました。例年のように、前年度の事業報告と決算報告、今年度の事業計画及び予算が審議されたほか、会則改正と今年度の役員について審議され、いずれも原案通り可決承認されました。議事終了後、今後の木曾地区賛助会の方向についての意見交換の時間をとり、総会を終了しました。

当日は、シニア大学の開講日でもあり、上小支部の下倉・飯伊支部の今村シニア活動推進コーディネーターが終日参加されました。



** 上田 邦男 会長のあいさつ **

今年も春から異常気象とも言われる日が続き、春は足早に去り、若葉を楽しむこともせかされ夏が近づいています。このあたりも亜熱帯化しつつあるのかと思われます。

今年こそ災害のない年であってほしいものと思う矢先、4月14日熊本県方面での大地震により大災害となりました。災害に遭われた方、また、犠牲になられた方々に心からお見舞いとお悔やみを申し上げます。

このような中で、木曾谷には明るいニュースがあります。相撲界の御嶽海関です。名古屋場所でも地域に明るい話題を提供してくれることを期待し、応援をしていきたいと思ひます。

さて、長野県長寿社会開発センター木曾地区賛助会定期総会開催にあたり、ご多忙中の所、多くの会員の皆様にご参加をいただきありがとうございます。センターがめざす「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会」の実現のために、4つの目標を掲げています。1に「意識づくり」、2に「人づくり」、3に「仲間づくり・健康づくり」、4に「コーディネートの仕組みづくり」等です。特に、コーディネーターについては、平成26年度から新たな事業の柱として、県が掲げる「人生二毛作・生涯現役社会」への取り組みについて幅広く活躍し、28年度は3名増員となりました。このような趣旨に賛同し、賛助会員として活動してきたところです。長野県は健康長寿県として全国から注目され、県の財産である健康長寿をさらに発展させるべく「しあわせ信州創造プラン」において、シニア、シルバー世代が培ってきた知識と経験を活かし、ボランティア活動等社会参加に取り組んできました。

人生90年時代を前提に、社会情勢の変化とともに高齢者像が変化する中で、仲間づくりの目的も、孤立化防止から地域活動を推進する組織づくりに重要性が高まり、その役割

が賛助会に期待されているところです。しかしながら、今一番の課題は会員の減少です。木曾地区賛助会員は27年の145人が、28年では85人となり、新たに加入した会員もわずかで、役員構成にも支障をきたす状況となりました。いろいろな面で会の維持存続のための見直しを考えなければならない時期にきてしまい、今まで通りの総会のあり方でなく、今後の木曾地区賛助会のあるべき姿、形について、皆様方からご意見等をうかがう意見交換会の時間を多く取り入れた総会といたしました。よろしく願いいたします。

平成27年度事業につきましては、皆様方のご協力により予定通り実施することができました。ありがとうございます。また、平成28年度についても概ね例年通りです。本日ご提案申し上げますので、ご審議の程よろしく願います。

木曾地区賛助会について、支部書記局並びに町村役場担当課関係各位の一層のご指導とご協力をお願いいたします。本日ご参集の皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、はなはだ簡単ではありますがご挨拶といたします。

《意見交換》

テーマ：「平成29年度からの木曾地区賛助会の方向について」

(出された意見)

- ・会員の減少が一番の課題。(昨年度に比べほぼ半減している)

昨年5月現在152名、今年85名

- ・役員のなり手が全くいないため、役員構成(決め方)の見直しも必要。
- ・賛助会に加入しなくてもグループ活動はできるし、仲間とのつながりもつくれる。
- ・「賛助会」とは何か、というそもそもの前提が、昔のシニア大学生と今のシニア大学生とで乖離している。昔は、授業料が無料であったため、地域社会への恩返しのつもりで賛助会に加入する方が多かったが、今は授業料が徴収されるようになり、実際には県費等で運営されているにもかかわらず、「自分の月謝は自分で払っている」という意識が強くなってきている。
- ・長寿社会開発センターは、実態に即した現場が見えていないと思う。昨年度に意見を述べたが、今年度の予算等には反映されていない。
- ・3,000円の会費が結構重みになっている。グループ活動するにも、自分で出したお金を自分で使うために、煩雑な申請を経なければならないという現状があり、メリットを感じられない。

コーディネーターからは、

- ・日常的に楽しめる場、グループ間の交流の場が必要ではないかと感じている。
- ・グループ活動の支援、特にグループの立ち上げ支援を手厚くしてほしいという要望が現場から出てきている。

また、役員からは、

- ・役員は本来なら2年間の任期であるが、先述したような厳しい状況を踏まえ、とりあえずは今年度1年間の任期とさせていただきたい。



出された意見を参考にしながら、幹事会で方向を出し、改めて会員の皆様に提案したいと思っております。

平成27年度 木曾地区賛助会収支決算書

収入金額	227,435
支出金額	177,428
差引残高	50,007 28年度繰越

1 収 入

項 目	予算額	決算額	予算残額	説 明
繰 越 金	62,414	62,414	0	
交 付 金	165,000	165,000	0	160円×会員数152≒25,000 +140,000
そ の 他	24	21	△3	預金利子
合 計	227,438	227,435	△3	

2 支 出

項 目	予算額	決算額	予算残額	説 明
賛助会総会費	88,000	78,733	9,267	
会場借り上げ料	18,000	20,000	△2,000	上松町ひのきの里総合文化センター
講演会費	60,000	53,442	6,558	講師謝金 接待
諸経費	10,000	5,291	4,709	花代・垂れ幕・事務費
活動発表会費	45,000	25,045	19,955	
活動発表費	10,000	3,000	7,000	タウンミーティング
スポーツ交流費	20,000	18,321	1,679	参加賞・賞品・トロフィー・保険
高齢者作品展	10,000	1,504	8,496	県助成金有
諸経費	5,000	2,220	2,780	切手代
活動委員会・幹事会費	65,000	63,831	1,169	
用紙・印刷代	4,000	2,021	1,979	用紙・インク
通信費	6,000	1,890	4,110	切手・ハガキ
諸経費	5,000	0	5,000	幹事会費
交通費	50,000	59,920	△9,920	幹事会交通費補助
会報発行費	10,000	5,719	4,281	
用紙・印刷代	8,000	3,669	4,331	用紙・インク
諸経費	2,000	2,050	△50	
会員加入促進費	10,000	4,100	5,900	
用紙・印刷代	2,000	2,460	△460	
通信費	8,000	1,640	6,360	切手・ハガキ
予 備 費	9,438	0	9,438	
合 計	227,438	177,428	50,010	

(公財)長野県長寿社会開発センター 平成27年度木曾地区賛助会会計監査報告
提出された帳簿、通帳、並びに関係証拠書類を監査したところ正確かつ適正に
処理されていることを確認しました。

平成 28 年 4 月 22 日

監 事 上川 雅也 (印) 堀田 昌子 (印)

平成28年度 木曾地区賛助会収支予算 (暫定案)

収入金額	205,028
支出金額	205,028
差引残高	0

1 収 入

項 目	27年度決算額	28年度予算額	説 明
繰 越 金	62,414	50,007	
交 付 金	165,000	155,000	170円×会員数85≒15,000 +140,000
そ の 他	21	21	預金利子
合 計	227,435	205,028	

2 支 出

項 目	27年度決算額	28年度予算額	説 明
賛 助 会 総 会 費	78,733	57,000	
会場借り上げ料	20,000	0	木曾合同庁舎
講演会費	53,442	50,000	講師謝金・接待
諸経費	5,291	7,000	花代・垂れ幕・事務費
活 動 発 表 会 費	25,045	35,000	
活動発表費	3,000	5,000	
スポーツ交流会費	18,321	20,000	参加賞・賞品・トロフィー・保険
高齢者作品展	1,504	5,000	来客接待・事務費
諸経費	2,220	5,000	用紙・消耗品
活 動 委 員 会 ・ 幹 事 会 費	63,831	58,000	タウンミーティング・意見交換会
用紙・印刷代	2,021	3,000	用紙・インク代
通信費	1,890	3,000	切手・ハガキ等
諸経費	0	2,000	
交通費	59,920	50,000	幹事会交通費補助
会 報 発 行 費	5,719	7,000	
用紙・印刷代	3,669	5,000	用紙・インク代
諸経費	2,050	2,000	通信費
会 員 加 入 促 進 費	4,100	5,000	
用紙・印刷代	2,460	3,000	用紙代
通 信 費	1,640	2,000	切手・ハガキ等
予 備 費	0	43,028	
合 計	177,428	205,028	

活動グループの紹介 ～シニア大学の講座で～



6月2日、賛助会総会の前の時間帯で、シニア大学の講座「地域活動の実際」が開かれ、賛助会のグループ「コーラス山脈」の皆さんが歌の発表とともに、活動の様子を紹介しました。

学生からは「木曾学部22回生が交流を続けているグループと知り、びっくりしました。シニア大学の成果を目の当たりにした感があります。歳を取るほどに人との交流は大切ですので、教訓とさせていただきます。」「話を聞いているうちに活動してみたい

気持ちになりました。」等の感想をいただきました。「コーラス山脈」のみなさん、ありがとうございました。

第21回木曾地域高齢者作品展作品募集!

～個人で1種目3点以内、何種目でも出品できます～

- 1 開催期日 平成28年11月8日(火)・9日(水)
- 2 開催場所 上松町ひのきの里総合文化センター
- 3 展示種目 工芸品、絵画、写真、書、俳句・短歌、手芸、盆栽、その他
- 4 募集期間 平成28年8月8日(月)～10月7日(金) 厳守
(出品カード提出)
- 5 提出先 賛助会員は各グループ長へ提出。一般の方は「町村役場福祉係」または「事務局」へ提出してください。
(グループ長は、出品一覧表を10月14日(金)までに事務局へ)
- 6 作品の搬入 11月7日(月) 午後3:00～4:30
搬出 11月10日(木) 午前8:50～9:30

※ 作品の搬入・搬出は、原則として出品者個人が行う。個人では難しい場合は、各町村委員(役場福祉係)又は支部事務局に相談してください。

木曾地区賛助会スポーツ交流会開催 参加者募集!

- 競技種目 マレットゴルフ (グループでも個人でも参加できます)
- 開催日時 10月7日(金) 8:30～ 開会式 (雨天中止)
- 会場 大桑村スポーツ公園マレットゴルフ場
- 申込期限 9月2日(金) 厳守
- 申込先 各グループ長または支部賛助会事務局 (FAX 可)
- 申込方法 グループ長さんのところに、申込用紙があります。
- グループに所属していない方は、電話等で事務局に直接お申込みください。

高齢者作品展参加募集中！

(日本画・洋画・彫刻・手工芸・書・写真の6部門)

- 申込期限 平成28年8月26日(金) 16:00まで
- 申込先 各町村役場(住民福祉課)又は支部事務局(木曾保健福祉事務所内)
- 申込方法 役場・グループ長・支部事務局においてあります
「高齢者作品展出品票」の提出
- 作品搬入 9月23日(金) 16:00まで
各町村役場(住民福祉課)又は事務局へ
- 開催日時 9月30日(金)～10月2日(日)
- 場 所 塩尻総合文化センター

10月2日(土)の式典・交流イベントに参加。バスを出します。

(申込はグループ長迄、グループ未加入の方は支部事務局迄)

※詳しくは、町村役場(住民福祉課)又は支部事務局迄お問い合わせください。

長野県長寿社会開発センター木曾支部(木曾保健福祉事務所福祉課内)

電話 25-2218 FAX 24-2350

(2016信州ねんりんピックスポーツ交流大会参加募集は締め切りました。)

木曾地区の割引協力店のご案内

ご利用ください

(割引内容は、別冊「割引協力店」6ページをご覧ください)

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1 街道浪漫 おん宿蔦屋(木曾町福島) | Tel 22-2010 |
| 2 ホテル木曾路(南木曾町吾妻) | 58-1126 |
| 3 あてら荘(大桑村野尻) | 55-4455 |
| 4 木曾文化公園宿泊施設 駒王(木曾町日義) | 23-7201 |
| 5 ねざめホテル(上松町上松) | 52-2245 |
| 6 木曾福島郷土館(木曾町福島) | 22-4058 |
| 7 義仲館(木曾町日義) | 26-2035 |
| 8 タ山マレットゴルフ場(木曾町開田高原) | 42-3001 |

【編集後記】

雨後の紫陽花が色鮮やかにあちこち人目を引く。周りの緑もとても美しく、たまに歩いてみると、車で走ると見えない物、足元の小さな花等目に入る。歩くのも楽しい。感動です。梅雨の最中であるのに長降りがないので!! 地方によっては大雨降りの所、水不足の地方は大変だと思います。

木曾はそんな心配もなく、自然に感謝です。梅雨が明けるとどんな夏が来るだろう。特に今年は暑いだろうね。向かう暑さに負けずと元気に乗り切りたいものです。

(会報担当幹事 中邑恵美子)